



いつも いつでも あなたのために

## 第21期 株主通信

2012年4月1日 ~ 2013年3月31日



**SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

“生命を守る人の環境づくり”を、これからも。

証券コード: 3360



代表取締役社長

古川 國久

[ グループ理念 ]

# SHIP

Sincere (誠実な心)    Humanity (「情」の心)    Innovation (革新者の気概)    PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

“生命を守る人の環境づくり”を、これからも。

[ 基本姿勢 ]

し    せい    そく    だつ  
**至 誠 惻 怛**

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

[ 2013年Key Word ]

緊張感を持ってトランペット経営を!

## 『進化』と『成長』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、当期（2013年3月期）創業20周年を迎えることができました。業績につきましても売上高2,243億円、経常利益135億円となり、5期連続の過去最高収益を達成するとともに、配当につきましても記念配当を含め大幅に増配することができました。これも一重に株主の皆さまのご支援によるものと深く感謝申し上げます。

現在当社グループを取り巻く環境は、いまだ構造改革の大きなうねりの中にあります。そして、このうねりの中を生き残るには、総合力と質が必要であり、この能力をもつ企業による激しい競争と寡占化が進んでいます。一方、経済発展の著しい新興国等では、高度医療への要求が高まり、日本発の高度な医療・施設ノウハウのマーケットが開けてまいりました。

このような中で、当社グループは、売上高1兆円の企業集団を目指してまいりたいと考えております。そのためには、しっかりとした人材育成が必要です。先日、当社の理念「SHIP」と基本姿勢である「至誠惻怛」の言葉を残した山田方谷に関する新聞広告を出稿いたしました。人の生命に関わる仕事である以上、今の状況に決しておごることなく、理念教育を通じ、誠実な人材を育成してまいりたいと考えております。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 次なる成長 売上高1兆円の企業集団に向けて

## 業績について

### 過去最高の収益を更新

当期の状況といたしましては、大型プロジェクト案件が引き続き好調に計上されるとともに、自社製品の販売が堅調に推移いたしました。加えて、ヘルスケア事業、調剤薬局事業におけるM&Aの効果等により、売上高は前年同期比18.8%増の2,243億円を達成しております。また、利益面におきましては、トータルバックシステム事業の増益により、経常利益で前年同期比20.8%増の135億円、当期純利益は前年同期比22.2%増の85億円となりました。一方、ヘルスケア事業では入居者の獲得等、課題を残す結果となりました。

#### 計画値の推移と業績結果

(単位：百万円)

	2012/3 (実績)	2012/5/7 発表 (期初計画)	2012/10/29 発表 (上方修正後)	2013/3 (実績)
売上高	188,839	210,000	218,000	224,363
営業利益	10,132	11,000	12,000	12,544
経常利益	11,251	11,750	12,750	13,589
当期純利益	7,026	7,250	7,500	8,589

## 売上高1兆円の企業集団に向けた中長期展望

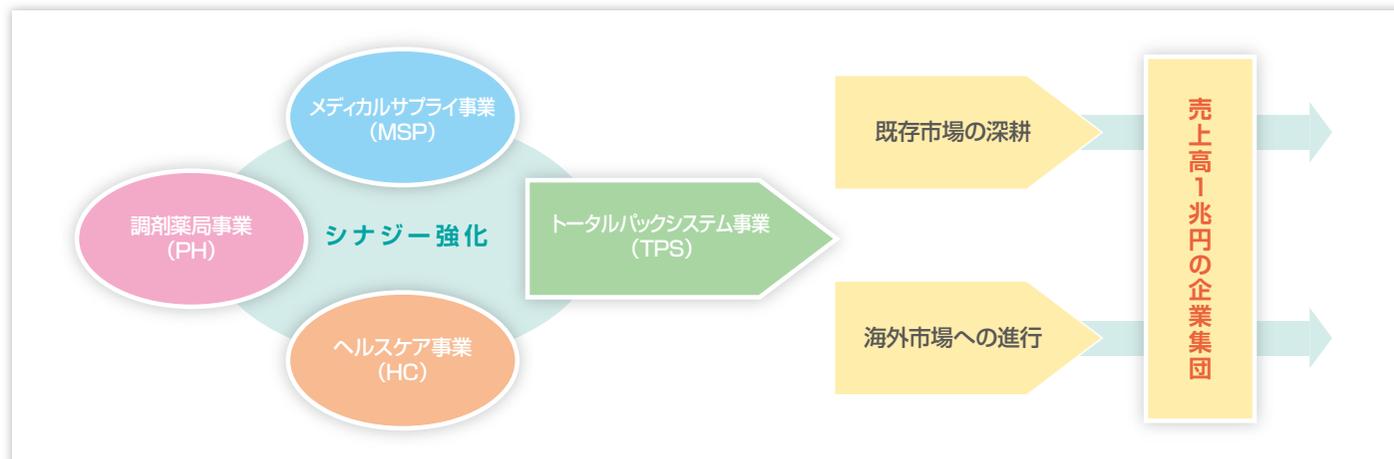
### シナジー効果と海外進出

創業20周年の目標を達成した当社グループは、次なる成長に向けて挑戦してまいります。まずは、挑戦の基盤となるグループ経営の強化につきまして、昨年5月に当社を中心とするアコーディオン体制に再編し、セグメント間の連携を深め、よりシナジー効果が発揮できる構造を作り上げました。この基盤をもとに、既存市場の深耕と新しいマーケットへの進出を図ってまいります。既存市場の深耕では、各セグメントの状況を見定め、その時の“旬”を提案しながらそれぞれに効果的な戦略・施策を展開してまいります。

一方、新しいマーケットへの進出においては、海外市場の開拓に

向けてグループ全体で対応を強化してまいります。海外の医療マーケットは、ASEAN地域を中心に1人当たりのGDP向上等により、有望市場として育ってまいりました。また、安倍政権により成長産業として日本医療の輸出が取り上げられる等注目が高まっております。当社グループはこの海外市場において、既にいくつかの実績を積み上げておりますが、今後は、我々の強みを武器に本格進出を行ってまいります。

#### 中長期の戦略フレーム



日本発の技術・ノウハウをもとに、海外展開を加速

## 新しいマーケットとして、 取り組みを進めてまいりました海外におけるトータルパックシステム事業に 実績や案件が生まれてきています。

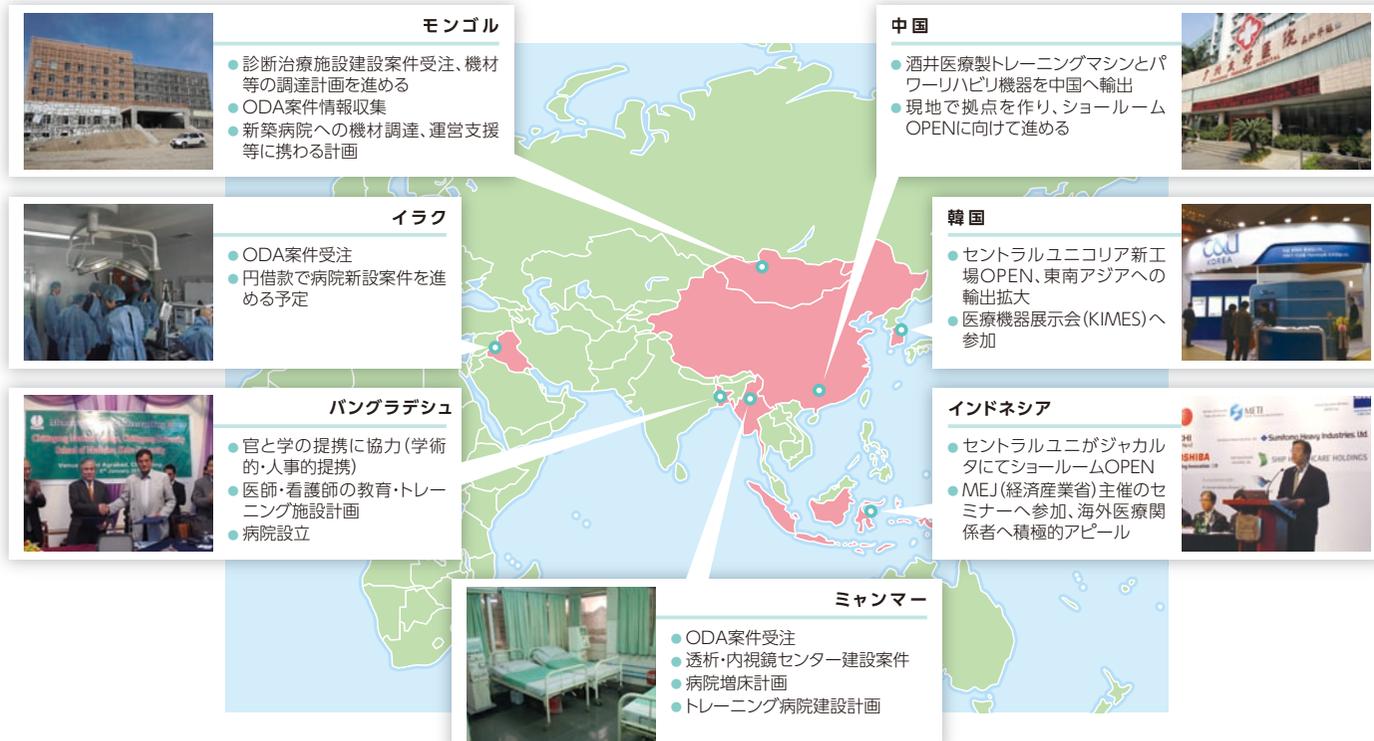
当社グループは、従来国内の医療レベルの向上に貢献してまいりましたが、そこで蓄積されてきたノウハウ・技術は世界に通用するまでに成長しております。当期におきまして、海外事業部を新設し、海外でのトータルパックシステム事業が本格化しております。

具体的な実績としましては、経済発展の著しい新興国や高度な医療施設を必要としている国々、地域等に機器・設備関連の導入を

開始いたしました。また、トータルパックシステム事業の本来の姿であります病院経営全般に係るプロジェクトも進行しており、新たなスタイルとなるトータルパックシステム事業の本格的海外展開を実施しております。

当社グループはこの様な動きを今後とも加速させ、海外事業をもうひとつの柱として育成してまいります。

### 海外展開の概況



医療環境のトータルプロデュース始動

## 淀川キリスト教病院の 移転プロジェクト、 6年間の工程が完了いたしました。

大阪・東淀川の地で1955年から地域医療を支えてきた淀川キリスト教病院は、誕生した全ての人のからだどころ、そしてたましいの悩みをキリスト教の愛を持って支える“全人医療”を理念としておられます。また、日本で2番目にホスピス病棟を開設した終末期医療、子供たちを救う周産期医療、断らない救命・救急医療の3つの大きな柱とともに地域医療に取り組んでこられました。

2006年、病院機能を刷新するための移転プロジェクトが立ち上がり、当社グループも協働して、構想の段階から参加することになりました。

“チャーチを中心にした癒しの病院”をコンセプトに6年間の歳月をかけて計画は進み、2012年7月16日、淀川キリスト教病院は300人以上の患者さまや新生児と一緒に移転いたしました。1日も休診せずに移転したのは全人医療の精神、そして地域医療のためでした。

当社グループは、このような取り組みを通じ、これからも“生命を守る人の環境づくり”を実践してまいります。



※2013年3月13日 日本経済新聞に広告を出稿いたしました。

調剤薬局事業においてM&Aを実施。77店舗体制へ

## 2012年12月に 関東圏を中心とした調剤薬局チェーンを グループ化したしました。

2012年12月20日に株式会社医療サービス研究所がグループに加りました。同社は、関東圏を中心として調剤薬局を17店舗展開し、地域の医療サービスに貢献してきた実績のある会社です。

このグループ化により当社グループの調剤薬局は77店舗体制(2013年3月末現在)になると同時に、今まで空白地であった関東圏に店舗を拡大することができました。

調剤薬局事業は、薬価改定による価格引き下げ等により、厳しい状況が続き、取扱高の拡大によるバイイングパワーが求められる中、このグループ化を通じ仕入の効率化を進めてまいります。また、調剤薬局は介護保険制度上で進められている「地域包括ケア」の窓口機能として期待されており、当社グループは、この機能の強化にも努めてまいります。

### ■ 会社概要

設 立 日	1991年(平成3年)1月
商 号	株式会社医療サービス研究所
資 本 金	3千万円
代表取締役	代表取締役会長 沖本 浩一
薬 局 数	17店舗



リハモードヴィラ白井、オープン

## ヘルスケア事業におきまして 複合型介護施設サービス事業所を オープンいたしました。

リハモードヴィラ白井は、千葉県白井市に位置し、2012年8月1日より営業を開始いたしました。当施設は、サービス付き高齢者賃貸住宅を核に、地域密着型特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護等8種類の介護サービスを複合した「リハビリテーション強化型高齢者住宅」となっております。当施設の運営は、1881年にリハビリテーション機器メーカーとして創業した酒井医療株式会社が行い、「施設から在宅へ」の流れの中で、自立支援型の新しいサービスを提供してまいります。

施設名	サービス概要
リハモード ヴィラ	サービス付き高齢者賃貸住宅
リハモード ホーム	地域密着型特定施設入居者生活介護
リハモード ケア	小規模多機能型居宅介護
リハモード テラス	認知症対応型通所介護
リハモード デリ	訪問看護・介護・リハビリテーション
楽リハ デイサービス	通所介護
リハモード ナビ	居宅介護支援事業所
キッズアテンダント=こどもおてっだい隊	保育所



好調な業績等を背景に増配を実施

## 20周年の記念配当を含め、 当期の1株当たり配当金を 45円に増額いたしました。

当社では、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定的かつ継続的に、業績の成長に見合った成果を株主の皆さまに配当することを基本方針としております。

この方針のもと、2013年3月期の業績が過去最高収益となったことから、期末配当金を前期当初予想の1株当たり30円から5円増額することといたしました。また、創業20周年を迎えた節目の年であること、中期経営計画である売上高2,000億円を達成したこと等から、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするべく1株当たり記念配当10円を加え、45円に増額いたしました。

今後とも、株主の皆さまへの還元を重要な経営課題と捉え、業績の成長に見合った配当に努めてまいります。

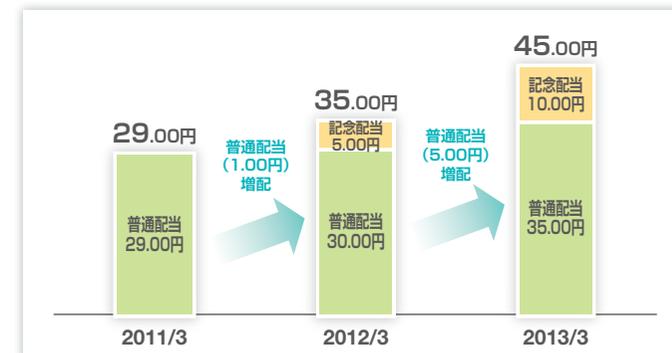
### ■ 配当金の推移

(単位：円)

	2011/3	2012/3	2013/3
1株当たり配当金	29.00	35.00 <sup>*1</sup>	45.00 <sup>*2</sup>

<sup>\*1</sup> 2012年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30.00円 記念配当 5.00円  
<sup>\*2</sup> 2013年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35.00円 記念配当 10.00円

### ■ 過去3ヶ年の1株当たり配当金の構成



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

	当 期 2013年3月31日現在	前 期 2012年3月31日現在	前期比 増減額
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>	<b>91,551</b>	<b>82,460</b>	<b>9,091</b>
現金及び預金	18,850	15,268	3,582
受取手形及び売掛金	54,113	51,737	2,376
商品及び製品	7,649	6,982	667
仕掛品	2,031	1,493	537
原材料及び貯蔵品	705	774	△ 68
繰延税金資産	1,526	1,322	204
短期貸付金	2,890	800	2,089
その他	3,882	4,250	△ 368
貸倒引当金	△ 99	△ 169	69
<b>固定資産</b>	<b>52,837</b>	<b>47,528</b>	<b>5,308</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>27,839</b>	<b>26,753</b>	<b>1,086</b>
建物及び構築物	8,962	8,009	952
機械装置及び運搬具	196	132	63
土地	8,230	8,082	147
貸与資産	44	51	△ 6
賃貸不動産	8,709	8,936	△ 227
その他	1,696	1,541	155
<b>無形固定資産</b>	<b>11,214</b>	<b>7,454</b>	<b>3,760</b>
のれん	10,622	6,972	3,649
その他	592	481	110
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,783</b>	<b>13,321</b>	<b>462</b>
投資有価証券	2,666	2,366	299
長期貸付金	6,277	6,596	△ 319
繰延税金資産	1,171	1,058	112
破産更生債権等	208	203	4
差入保証金	4,727	4,113	614
その他	711	961	△ 250
貸倒引当金	△ 1,979	△ 1,979	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>144,389</b>	<b>129,989</b>	<b>14,400</b>

(単位：百万円)

	当 期 2013年3月31日現在	前 期 2012年3月31日現在	前期比 増減額
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>	<b>73,405</b>	<b>67,937</b>	<b>5,467</b>
支払手形及び買掛金	53,493	49,819	3,673
短期借入金	3,281	1,615	1,666
1年内返済予定の長期借入金	3,526	3,919	△ 392
未払法人税等	3,176	1,981	1,194
繰延税金負債	74	3	71
賞与引当金	1,481	1,302	179
工事損失引当金	—	22	△ 22
その他	8,370	9,272	△ 901
<b>固定負債</b>	<b>28,436</b>	<b>26,796</b>	<b>1,640</b>
社債	4,034	3,108	926
長期借入金	20,063	19,369	693
退職給付引当金	2,006	1,885	121
繰延税金負債	319	234	84
資産除去債務	207	167	40
その他	1,806	2,031	△ 225
<b>負債合計</b>	<b>101,842</b>	<b>94,733</b>	<b>7,108</b>
<b>【純資産の部】</b>			
<b>株主資本</b>	<b>41,547</b>	<b>34,352</b>	<b>7,195</b>
資本金	5,691	5,667	24
資本剰余金	10,061	10,036	24
利益剰余金	25,795	18,649	7,145
自己株式	△ 1	△ 1	—
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>630</b>	<b>386</b>	<b>244</b>
その他有価証券評価差額金	567	383	183
為替換算調整勘定	63	2	61
<b>少数株主持分</b>	<b>369</b>	<b>517</b>	<b>△ 148</b>
<b>純資産合計</b>	<b>42,547</b>	<b>35,256</b>	<b>7,291</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>144,389</b>	<b>129,989</b>	<b>14,400</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	前 期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	前期比 増減額
売上高	224,363	188,839	35,523
売上原価	193,402	161,759	31,643
売上総利益	30,960	27,080	3,879
販売費及び一般管理費	18,416	16,947	1,468
営業利益	12,544	10,132	2,411
営業外収益	1,496	1,651	△ 155
営業外費用	450	532	△ 82
経常利益	13,589	11,251	2,338
特別利益	111	163	△ 52
特別損失	272	315	△ 42
税金等調整前当期純利益	13,429	11,100	2,328
法人税、住民税及び事業税	4,956	3,330	1,625
法人税等調整額	△ 199	571	△ 770
少数株主損益調整前当期純利益	8,672	7,198	1,474
少数株主利益	82	171	△ 88
<b>当期純利益</b>	<b>8,589</b>	<b>7,026</b>	<b>1,562</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	前 期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,118	8,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,456	△ 8,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	730	△ 7,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△ 2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,419	△ 7,379
現金及び現金同等物の期首残高	14,371	21,750
現金及び現金同等物の期末残高	17,790	14,371

(2013年3月31日現在)

■ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3(予想)
売上高	118,604	140,009	162,432	188,839	224,363	242,500
営業利益	3,625	5,700	7,856	10,132	12,544	13,500
経常利益	3,761	6,142	8,850	11,251	13,589	14,500
当期純利益	2,053	3,154	5,931	7,026	8,589	8,600
総資産	101,573	114,619	116,822	129,989	144,389	—
純資産	23,534	24,509	30,035	35,256	42,547	—

■ セグメント情報 (2012年4月1日~2013年3月31日)

トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、プロジェクト案件が計画以上で仕上がることもメーカー系における手術室・ICU等のユニットや医療ガスパイピング、介護用浴槽やリハビリ機器の製造販売、LED无影灯の製造販売が好調に推移する等、セグメント全体が順調に推移いたしました。また、海外におきましても、メーカー系、商社系ともに本格的な活動が始まりました。

以上の結果、売上高は79,644百万円(前期比19.0%増)、営業利益は9,113百万円(同48.3%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、院内SPDの受託が進み売上高は拡大いたしました。一方で専門領域の診療材料販売において、償還価格改定の影響等により営業利益は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は106,768百万円(前期比15.3%増)、営業利益は1,787百万円(同3.1%減)となりました。

ヘルスケア事業

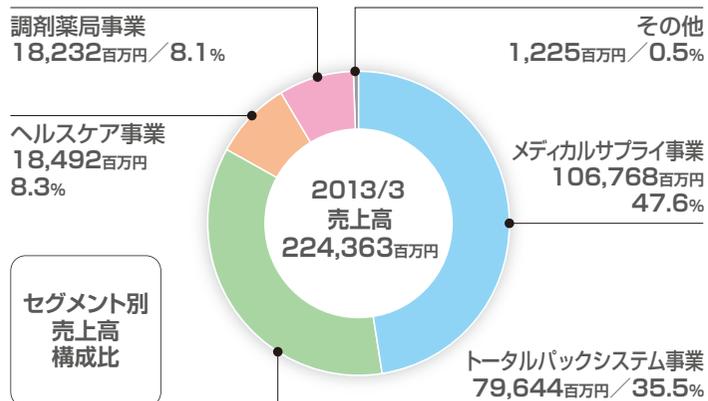
ヘルスケア事業におきましては、既存7施設が順調に稼働するとともに、2011年度実施した老人ホーム・グループホームのM&Aにより施設数が増加したことから売上高は増加する一方、施設内の構造改革や介護施設の立上げ先行費用等が発生したこと等から、営業利益が減少いたしました。

以上の結果、売上高は18,492百万円(前期比42.9%増)、営業利益は4,144百万円(同64.8%減)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、調剤薬局のM&Aを実施したことにより売上高は増加いたしました。一方で薬価改定の影響から、営業利益は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は18,232百万円(前期比19.9%増)、営業利益は1,597百万円(同9.0%減)となりました。



その他

その他におきましては、動物病院事業、理化学機器の販売事業も計画通り進捗いたしました。

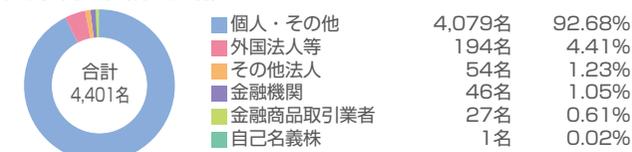
以上の結果、売上高は1,225百万円(前期比3.6%増)、営業利益は154百万円(同7.6%増)となりました。

■ 株式の状況

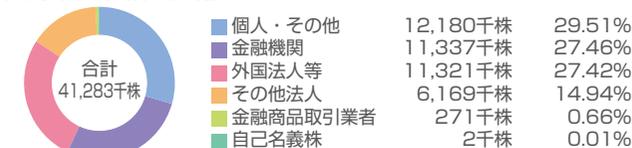
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	41,283千株
株主数	4,401名

■ 株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



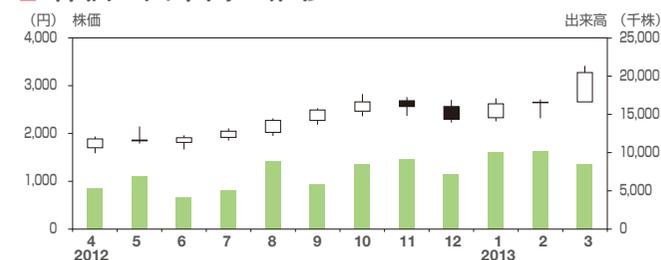
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■ 大株主の状況

株主名	保有株式数	持株比率
株式会社ココロー	3,988千株	9.66%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,404千株	8.25%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,023千株	7.32%
春日興産合同会社	1,400千株	3.39%
古川國久	1,236千株	3.00%
増田貞満	1,232千株	2.99%
古川幸一郎	1,230千株	2.98%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	930千株	2.25%
メロンバンクエヌエーエスエージェントフォーイッツクライアントメロンオムニバスユーエスベンション	876千株	2.12%
シップヘルスケアホールディングス従業員持株会	722千株	1.75%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
※ 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株価・出来高の推移



# 会社情報

# 株主メモ

## 会社概要 (2013年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
設立 1992年8月  
代表取締役社長 古川 國久  
資本金 56億9,193万円  
決算月 3月  
従業員数 連結3,388名(正社員)  
本社所在地 〒565-0853  
大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL : 06-6369-0130  
FAX : 06-6369-3191

## 役員 (2013年6月27日現在)

代表取締役社長	古川 國久	久隆
取締役副社長	小川 宏	順太
専務取締役	増田 橋	浩一
専務取締役	沖本 浩	宏行
取締役	小林 裕	司治
取締役	横山 賢	博昭
取締役	細川 本	義昭
社外取締役(独立役員)	和田 義	廣志
常勤監査役(社外)	岩元 廣	秀光
社外監査役	中尾 秀	昌也
社外監査役	水野 昌	博康
社外監査役	大山 博	

事業年度 4月1日～3月31日  
期末配当金受領 3月31日  
株主確定日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月中  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社(旧 クレオンホスピタルプライ(株)の株主様)  
みずほ信託銀行株式会社(旧(株)セントラルユニの株主様)  
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp>



## 2013年度、「ガンバ大阪」の スペシャルスポンサーとなりました。



地域・文化活動、スポーツ振興等、当社は社会に貢献できる持続性のある企業を目指しております。このような中で、大阪府吹田市発祥の企業としてお互いに20周年を迎えたのを機に、「ガンバ大阪」とスペシャルスポンサー契約を締結いたしました。

## アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

### Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前  
③6ヶ月以上前 ④1年以上前  
⑤株式上場時(2005年2月)

### Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている  
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する  
⑤未定

### Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化  
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性  
⑥株主政策の強化 ⑦その他( )

### Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会  
④個人投資家向け説明会の開催  
⑤その他( )

### Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①トップインタビュー ②トピックス  
③連結財務諸表 ④業績の概要  
⑤株式関連情報及び会社情報

### Q6 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。

当社グループの基本姿勢である「至誠惻怛」の言葉を残した備中松山藩における幕末の財政改革者・陽明学者であり、教育者でもあった山田方谷。当社グループは山田方谷のNHK大河ドラマ化に向けた署名活動を行っております。ご賛同いただける方は、是非アンケートハガキにチェックをお願い申し上げます。

※署名賛同チェックの情報につきましては、本目的の範囲内でご利用させていただきます。

山田方谷につきまして、詳しくは当社HPをご覧ください。

<http://www.shiphd.co.jp/about/message.html>